



2010年6月8日

各 位

会社名 株式会社 資 生 堂
 代表者名 代表取締役社長 前田 新 造
 (コード番号 4911 東証第1部)
 問合せ先 I R 部 長 齊 藤 幸 博
 (TEL. 03-3572-5111)

業績予想の修正に関するお知らせ

米国ベアエッセンシャルインコーポレーテッド(以下、ベアエッセンシャル)買収に伴う当期業績への影響見込みの目処がたってきたことから、平成22年4月28日に公表した平成23年3月期の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	323,000	21,500	20,500	11,500	28.91
今回発表予想(B)	339,000	17,500	16,500	9,000	22.63
前期実績比(%)	6.8	△23.0	△30.3	△49.4	—
増減額(B-A)	16,000	△4,000	△4,000	△2,500	—
増減率(%)	5.0	△18.6	△19.5	△21.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	317,268	22,739	23,680	17,788	44.68

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	660,000	53,000	51,500	31,000	77.94
今回発表予想(B)	705,000	50,500	49,500	29,000	72.91
前期実績比(%)	9.4	0.3	△3.9	△13.9	—
増減額(B-A)	45,000	△2,500	△2,000	△2,000	—
増減率(%)	6.8	△4.7	△3.9	△6.5	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	644,201	50,350	51,485	33,671	84.62

2. 修正の理由

当社は、平成22年3月8日の買収成立に伴い米国の化粧品会社ベアエッセシャルを子会社化し、新たに連結の範囲に加えましたが、取得した資産及び引き受けた負債の特定並びに時価の測定には時間を要するため、平成22年4月28日に公表した平成23年3月期の連結業績予想には、ベアエッセシャルの業績を含めませんでした。このたび、上記買収成立に伴う手続きが進捗し、のれん及び販売権等の償却額などの見込み額の目処がたってきたことから、ベアエッセシャルを含む平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の連結業績予想へ修正いたします。当該業績予想の修正に反映されるのは、ベアエッセシャルを子会社化した時点から同社の決算期末までの10ヵ月弱の業績となります。

なお、連結されるベアエッセシャルの業績には、買収に伴って発生する在庫の時価評価による売上原価の増75億円、販売権等の償却額35億円を見込んでおり、営業利益の押し下げ要因となります。加えて、当社業績に連結する過程で、日本の会計基準に基づきのれん代の償却額40億円を計上することを見込みます。今回の連結会計処理に伴う特別損失の計上は見込んでおりません。

以上の要因を反映した結果として、修正後の通期連結業績予想は、売上高7,050億円(前期比9.4%増)、営業利益505億円(同0.3%増、営業利益率7.2%)、経常利益495億円(同3.9%減)、当期純利益290億円(同13.9%減)を見込みます。また、海外売上比率は前期の36.9%から41.6%に上昇する見込みです。なお、在庫の時価評価による売上原価の増については主に上半期に発生すると見込んでいることから、第2四半期累計期間の連結業績予想は、営業利益で40億円、経常利益で40億円、四半期純利益で25億円、それぞれ下方に修正しております。

3. 配当金の見通し

中間および期末配当予想に変更はありません。(中間配当25円、期末配当25円、年間50円)

以上

【参考情報】在庫の時価評価による売上原価の増、及びのれんの償却額を除く連結業績予想

買収に伴う在庫の時価評価による売上原価の増については、当年度(平成23年3月期)のみに発生する一過性のものであり、次年度(平成24年3月期)以降の業績への影響はありません。また、買収に伴い取得した資産のうち、のれんの金額は約950億円と見込み、修正予想には償却年数を20年として織り込んでいますが、日本の会計ルールの変更に伴い次年度以降にはのれんが非償却となる可能性があります。仮にこれら会計処理による要因を除いた場合の当年度の業績予想は以下の通りとなります。その場合の営業利益率は8.8%となります。

(単位:百万円)

	修正前 通期業績予想 (A)	今回修正に おける増減額 (B)	在庫の時価評価による 売上原価の増、及 びのれんの償却額 (C)	在庫の時価評価による売上原価の 増、及びのれんの償却額の影響額 を除く通期業績予想 (A)+(B)+(C)	
					前期実績比 (%)
売上高	660,000	45,000	—	705,000	9.4
営業利益	53,000	△2,500	11,500	62,000	23.1
経常利益	51,500	△2,000	11,500	61,000	18.5
当期純利益	31,000	△2,000	8,500	37,500	11.4

なお、次年度以降の連結業績においては上記要因に加え、ベアエッセシャルの1年分の業績が連結されることや業績の伸長が期待されることから、同社の業績が連結利益の増加に与える影響は当年度と比較して大きくなるとみえています。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。